



東京湾のカサゴ&シロギス仕掛け例

Tackle Guide
シロギスは専用竿か船小物竿、カサゴにはライトゲーム竿が最適だがキス竿の併用も可。どちらも専用の貸し竿があるのでビギナーでも安心。仕掛けはシロギスなら胴つき2本バリか片テンピン2本バリ、カサゴもオーソドックスな胴つき2本バリが一般的。

うやく魚のスイッチが入ってきた。
初心者の親子も最初はぎこちなかったリーリングに次第



▲手軽に楽しめる東京湾のシロギスは船釣りデビューにもってこい

入門釣りに最適

3月11日に出かけたのは東京湾奥深川の富士見。江戸のころから続く老舗の船宿で、シロギスとハゼが大看板。やはりキスをメインにしたリーリング釣りがこの時期の釣り物と

一度の出船で違う魚をまとめて狙いたい欲張り派の釣りに人気。基本はアジアシロギス、カサゴなど小物主体だが、中にはタチウオなどをリリースする船宿もある。
今回は沖釣り入門に最適な春ということもあり、初心者目線でのレポートをお送りしたい。

なっている。

シロギスといえば沖釣り入門ターゲットとして昔から知られているが、道具も釣り方も簡単でまさに初心者には最適な釣り物。
天ぶら、フライにサイズがよければ刺身もOK！ビールやお酒がグイグイ進む。そしてリリースで狙うのが、

無骨な面構えだが食べては飛びきりうまいと人気のカサゴ。中でも煮つけは私の好物だ。エサと見れば飛びついてくる食いしん坊な魚で釣り方は至って簡単。根掛かりさえ注意すればこれまた初心者でも釣りやすい魚である。
船着き場に着くとすでに船

▼親子で船釣り初挑戦のお父さんがカサゴとシロギスの引きを満喫



春先はなんとまとったりとした釣りが楽しめるのが魅力でもある。午後2時に沖揚げり。トップの釣果はカサゴが13、23センチ級を15尾、シロギスは14、20センチ級を13尾だった。カサゴ、シロギスともに平均で一

ホカホカ陽気で食い上々。カサゴ&シロギスリリース

東京湾奥深川発 ↓ 本牧 木更津沖

上はにぎやかで釣り談義に花が咲いている。今日はキス・カサゴのリリース船のほかにタチウオ船も出るとのこと。
当日は毎週通う2人組の常連さんと釣りが初めての親子そしてシロギス、カサゴが大好きなベテランさんに屋形の船頭さんが助手兼釣り人であり込み、定刻の7時20分に河岸払いとなった。

最初のターゲットはカサゴということで船は本牧方面へ舵を切る。
小一時間ほどで釣り場の本牧沖に到着。すでに先着の船が釣りをしており、こちらも潮回りを済ませて釣り開始。

水深は20メートル前後だが、起伏が激しいのでこまめに底タチを取り直すことが大事。基本はオモリを底に着けて10秒ぐらいたったら仕掛けをゆっくり持ち上げ、再びゆっくりと下ろして着底させる。

基本はこの繰り返しだったが、竿を動かして下ろす場所を変えていくのがコツ。そして底に着いている状態ではオモリを引きずらないことも大事。アタリはゴツゴツとハッキリ伝わるが早合わせは禁物。竿先が引き込まれたらゆっくりに竿を持ち上げればOK。すぐに一つ、二つと釣れてきて「今日はいける！」と思つたのも束の間、後が続かず沈黙。

ナギ日和で初夏を思わせる暖かさ。潮も動いておりキス、カサゴ釣りには最良の天気だが、何が気に入らないのかアタリも少ないと仲乗りさんもボヤク。
たまにアタつても食い込みが浅くハリ掛かりしてこない。登藤晃弘船長もあちこちポイントを移動してくれるがポツポツと釣れてくるだけ。金魚みたいな小型はいない

が、25センチ超えも姿を現さず今イチ盛り上がりがない状況。それでも何度か場所変えしていると、船中でだれかしらが釣り上げる光景が見られ



▲初心者でもこれくらいは釣れる

人10尾前後とまずまずの釣果。ビギナーの親子も2人合わせて晩のおかずはキープできたようだ。
「これから水温がさらに上がればシロギスもカサゴもどんどん浅場で釣れるようになります。リリース釣りを楽しみたい方は早めに遊びに来てください」と登藤船長は話してく

船宿information
東京湾奥深川
富士見
☎03-3641-0507
(詳細は巻末の情報欄参照)

▶料金=シロギス&カサゴリリース
一人9500円(エサ、水付き) 女性子供割引あり
▶備考=予約乗合、7時半出船。ほかライトアジ、タチウオへも出船

知得!
釣りは非常にシンプル

カサゴ狙いは根掛かりに注意。オモリを海底で引きずらないことと早合わせは厳禁。エサはサバの切り身をハリにチョン掛け。シロギスは海底で小さくオモリをトントンたたか感じて誘いをかけるのが効果的だ。

▲アタリがきても慌てず、強引に引っ張るとこころを巻く。